

ネオ屋台 アカデミックな事を考えてみる

「生涯一学徒！ 知的、遊戯的考現学」



——今回のテーマは「エコ」。ネオ屋台でも多く使われている「割り箸」をキーワードに考えてみたいと思います。使い捨ての割り箸よりも、やっぱりマイ箸を持つべきなの？

まずは「アド箸」プロジェクトに取り組んでいるハートツリー(株)の服部進さんの話を聞きました。

国産の割り箸を使おう

——早速ですが、アド箸について教えてください。

奈良県の吉野ひのきで作られている割り箸で、パッケージにスポンサーの企業の広告を掲載しているのが特徴です。国産の割り箸って使った方が日本の森林にとって良いのに、相場の3〜4倍と価格がどうしても高いんですよ。だから自ずと使う人が少なくて。それで、国産でも広告を掲載することで、輸入のものと同様に価格を実現させたいんです。

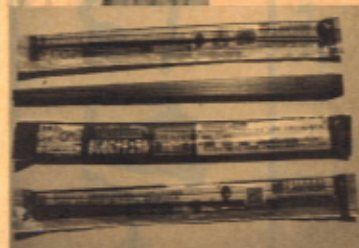
——日本の森林に良いとは？

元々日本の割り箸って、林業関係者の「もったいない」の精神から生まれたもの。間伐材や端材を使って作られたんで



世の中エコが花盛りだけど、
そもそもエコって何!?

上_ハートツリー 副代表取締役の服部進さん。下_現在展開中のアド箸。



す。国産の割り箸の需要を増やすことは、実は大切な森林の手入れを促進し、森林保護にもなる。森林が元気になつてくことにつながるんです。アド箸の取り組みで、それを強く訴えていきたいと思っています。

*主な木の生育を助けたり、採光をよくしたりするために、適当な間隔で木を伐採し、そのときに伐り出した木のこと。

——使い捨てはエコじゃない、とは言えないんですね。なんだかエコって難しいかも。